

総合学科だより

2016年12月・2017年1月

一年生の系列決定!

十二月の三者懇談で一年生の来年度所属する系列が最終決定しました。系列の選択決定は、入学以来「産業社会と人間」で、自分の進路について考えてきた生徒にとって一つの成果といえます。

四月の時点では未定であった生徒、また、数字ではみえないものの、四月の時点から系列を変更した生徒もいます。それぞれが自分の進路について悩み、決定した系列です。高い意欲をもって、今後の学校生活に取り組んでいくことを期待します。

入学時(4月)の系列希望

言語・文化系列	20名
観光産業系列	13名
健康福祉系列(介護)	14名
(保育)	14名
未定	17名



最終的な系列決定(12月末)

言語・文化系列	21名
観光産業系列	29名
健康福祉系列(介護)	12名
(保育)	15名

地域の伝承文化に学ぶコンテスト 最優秀賞受賞!



フィールドワークの様子



授賞式での発表

総合学科の学校設定科目「地域研究」と「社会探求」で取り組んだ「民話から探る山の世界」と「岐阜の地歌舞伎」の研究が、國學院大學主催の「地域の伝承文化に学ぶコンテスト」で最優秀賞と佳作を受賞しました。夏から文献研究とフィールドワークを重ねた結果で、特に「民話から探る山の世界」は、最優秀賞を受賞することができました。授賞式では、総合学科観光産業系列二年生の細江侑以さん(下呂中卒)と蒲隆成君(金山中卒)が研究内容を発表し、その内容を高く評価していただきました。

第四回観高サミット@仙台に参加!

十二月十六日(金)・十七日(土)にかけて、宮城県仙台市の宮城学院女子大学で開催された、第四回全国高校生観高サミットに総合学科三年生が参加しました。当日は、全国でも珍しい観光科をもつ宮城県松島高校の生徒が運営を担当し、各校の取り組みの発表、高校生との交流大会をしました。全国では、修学旅行のガイドや、高校生による本場の結婚式など、とても刺激的な取り組みをしている学校があること、また、松島高校の運営の手際の良さなど多くのことを学ぶことができました。本校の取り組み発表も、現代ビジネス学部長賞をいただき、高く評価していただき、全国で観光を学ぶ学校の中でも自信をもつことのできるものと確信しました。



発表の様子

堂々とした実践発表でプレゼン方法も大変好評でした



参加者全員での記念撮影

全国から集まった高校7校と宮城学院女子大学の学生との一枚



交流会の様子

ワールドカフェ方式という面白い方法での交流でした。松島高校の生徒がすべて運営を担当されました



交流会の第二部では、宮城の郷土料理を全員で調理しました。できた料理を昼食で食べながら、さらに交流を深めました。

萩原小学校出前授業!

十二月二十日(火)に総合学科言語・文化系列三年生が、萩原小学校の二年生に向けた、算数の出前授業を行いました。算数の出前授業は初めてで、算数の楽しさを一生懸命に伝えました。大変緊張しましたが、萩小二年生の生徒のみなさんと楽しい時間を過ごすことができました!



図形を使った授業を行いました。教えることの難しさと楽しさを実感しました!

萩原小児童のポップコーン販売!



萩原小学校の児童が育て、天領朝市でも販売したポップコーンの実を本校で販売してくれました。天領朝市に本校も参加したことと日頃の交流が縁となり実現しました。今年で二回目ですが、二十分程度で完売となり、大好評でした!

介護福祉現場実習



健康福祉系列介護コース十三名が、十一月に地元の施設へ実習に行かせていただきました。今まで学んできた、介護に関する基礎的知識・技術を踏まえて、現場の様子や介護技術、お年寄りとの関わり方を学びました。実習を通して、お年寄りから信頼される介護士を目指し、さらに勉強に励みたいと意気込む生徒もいました。

足湯でジェラート販売



足湯でのハンドベル演奏

十二月二十三日(金)に、観光産業系列三年生がとうもろこしのジェラートを下呂温泉街で販売しました。冬でも冷たいジェラートを楽しんでもらえるよう足湯に使っている観光客に販売しました。あいにくの雨でしたが、クリスマス前ということで、買っていただいた方にハンドベルの演奏もプレゼントして笑顔あふれる時間となりました。

その他の取り組み



地産地消の勉強で干し柿を作りました。とても甘く美味しい干し柿となりました。



冬のイベントが少ない萩原を元気にしようと飛騨萩原駅をイルミネーションで飾りました。来年度はさらに賑やかにします!